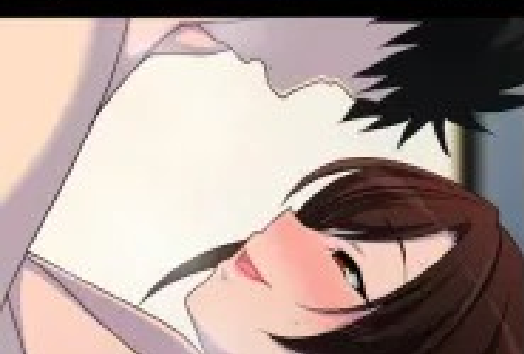
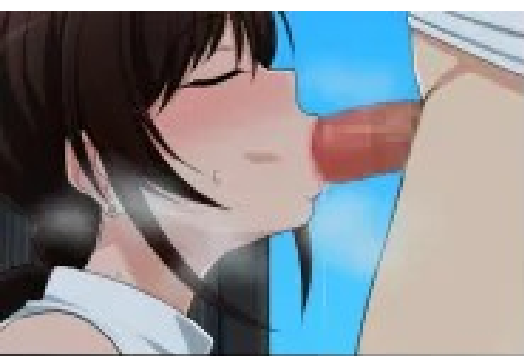




里帰り

の理由



地獄の連勤が終わって
やっと遅い盆休みがやってくる。

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

今回こそ意を決して……！

…旅行？

2泊3日くらいで
考えてるんですけど

どうですか？

僕がずっと思いを寄せている
長谷川先輩。

今まで食事に誘うのが精一杯だった。
なので今回は覚悟を決めて
先輩を旅行に誘ってみたが…



うん…

宿とかもう予約
しちゃってる？

まだしてない
ですけど…

そっか

今度の休みは実家に
帰ろうと思っててね…

残念だけど
旅行はまたの機会に…

え…あっ…そ、そうですね

でもせっかく誘って
もらったし…

先輩とは入社の頃からずっと
コンビで仕事をしている。
助けられてばかりだけど…。

あ…ダメか。



まだ宿とってないなら
私と一緒に里帰りしない？
宿代もいらないし♪

えっ…実家て
いいんですか？

お盆も終わってるから
ゆっくり過ごせるだろうし

すごい田舎だけど
それでもよかったら…

全然大丈夫です！
行きます！
絶対行きます！

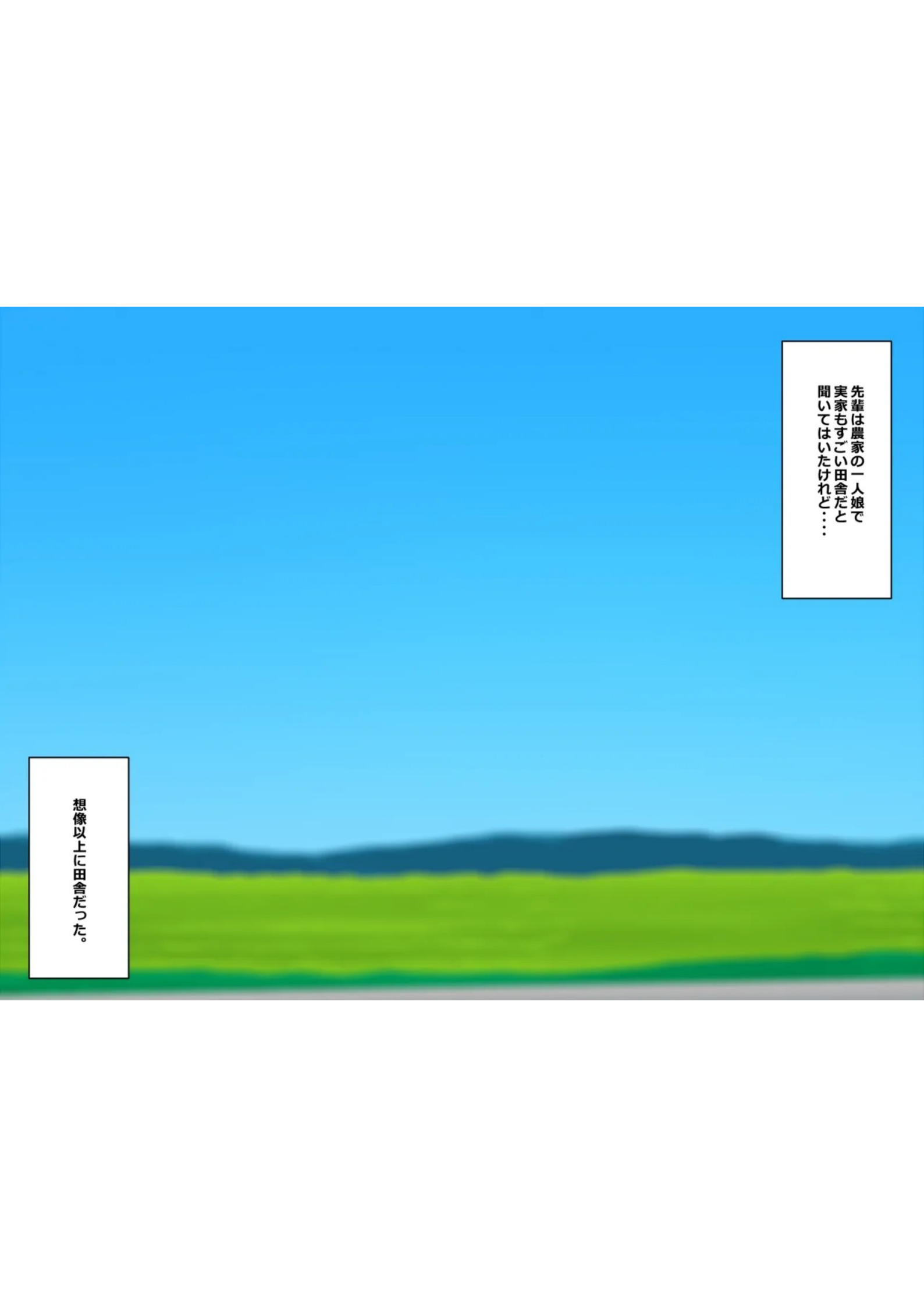
ふふっ
決まりね♪

まさかの実家…
いやでもこれは！

こうして先輩の里帰りに
同行することになった。

結果オーライ？





先輩は農家の一人娘で
実家もすごい田舎だと
聞いてはいたけれど…

想像以上に田舎だった。

家に帰る前に祖父母の
お墓参りしておきたいくて…

ちょっと歩くんだけど
大丈夫？

全然大丈夫です！

じゃあ、行こっか



ただいま〜

おかえり…って
歩いて来たの？

鈴木君に村の事
紹介したくて〜

もう言えば迎えに
行ったのに

ごめんなさいねいつも娘が…
せっかく来てもらっというてね

いえ、いつもお世話に
なりっぱなしで…
お世話になります

ごちそうさあ、あがって

想像以上に歩いた…。

先輩体力凄いな。

いつも娘から鈴木君は
頼りになる男だと聞いとるよ

いえ、そんな...

またまた
そんなに謙遜せんでも

この子は意外と
甘えん坊でね

ゆりはいつも電話で
楽しそうに鈴木君の
話するのよ

そ、そうなんですか!?

しかし本当に男前で...
うちに婿に来て欲しい
くらいだな母さん

本当ね

は...ははは



ごめんね、うちの両親が
はしゃいじゃって...

そんな...嬉しいですよ
あんなに歓迎してもらえて
よく言ってもらえて...

僕なんて全然
まだまだなのに...

鈴木君

はい？

いつも私について来て
くれて...ありがとね

どこへでも
ついて行きますよ

だって...

先輩のこと...

好きですから

……ありがとう





大好きよ♡

私も鈴木君のこと...

ぐっ...



あ♡

私にとって大切な
頼りになる存在なのよ？

せ、先輩…

せ、先輩っ!!

鈴木君は自分で思っている
よりもずっとずっと…







鈴木君...

すずき...

あ...♡

お布団行こ♡

はい

ドゥ...

ドゥ...

ドゥ...



んっ…

あ

ふふっ♥そういえば
いつも見てるよね？

すいません！

グイッ

グイッ

その…どうしても
先輩の胸がキレイで
気になっちゃって…

素直でよろしい♥



もっと近くに来て...

ほら♡

え...あっ...

うわぁ...

うわぁ...



もう鈴木君の
ものだから...

あ...

いっぱい
好きにして♡



や、柔らかくて
すごい...!

鈴木君...
緊張しないで
もっとして♡

はっ...っ...

すごい...先輩の
ドキドキいっぱい
伝わってきます...!

ああん♡いっぱい
ドキドキ感じて♡



先輩...

うっ!

鈴木君の口も...

あっ...

ちびゅちゅきゅきゅんね



わ♡

すごい…ガチガチ♡

あっ…♡

ドクンって脈の音が
聞こえてくる…

ドクン…

ドクン…

ドクン…

ドクン…



真っ直ぐで
一生懸命で...

鈴木君にそっくりな
おち○ちん♡

あっ!

ふふっ♡かわらぶっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ムッ...
ムッ...

ムッ...
ムッ...

あっ♡汗かいたから
ちよつとしょっぱい♡

は…はいっ！

ねえ鈴木君…
気持ちいい？

んあ…♡

んっ…♡

あっ…♡

うっ…くっ！

我慢しないで…♡

くっ…♡

くっ…♡

くっ…♡

くっ…♡

くっ…♡

くっ…♡





先輩っ！

ああああっ！

あっ♡

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ



出したばかりなのに
萎えるどころか…
どんどん勃起してる♡

二人のドキドキ
すごい…♡

もう…しちやおっか♡

んっ…♡
ふっ…♡

んっ…♡

ドク…

ドク…

ドク…

ドク…





先輩・・・あの

こんな田舎には
何もないんだから
気にしちゃダメ♡

そっでしょ？

そっ太君♡

くちゅっ...

くちゅっ...

くちゅっ...

くちゅっ...

くちゅっ...



先輩...っ！

ああん♡

先輩とひとつに...
夢みたいです

はい！

ふふ♡寝ほけて
離さないでよ？

はあ...♡

あ...♡

ドゥッ♡

ドゥッ♡

ドゥッ♡

ズッ♡...



絶対離しません！
絶対！だって…

入社の頃からずっと…
ずっと先輩のこと…！

私も…ずっと♡

だから♡もっと♡
いっぱい…っ♡

そう太君を
感じたい♡

ズン
ズン
ズン



先輩！ああっ！
先輩の膣中…熱い！

本当に溶けてしまい
そうなくらい…！

膣中すごい♥奥まで
そう太君でいっぱい♥

あ♥

は♥
は♥

あ♥
あ♥

溶かして♥いっぱい♥
溶けて…もっと

もっとひとつに
なりたい♥

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン



先輩！僕…もう

あん♡きて♡
私もイクから♡

一緒に…♡

んんあぁっ♡



あっ…溢れてきた♡
そう太君でいっぱい♡

先輩…僕すごく
幸せです…!!

はあ…♡

はあ…♡

ふふ♡本当に
幸せそうな顔してる♡
でも私は…

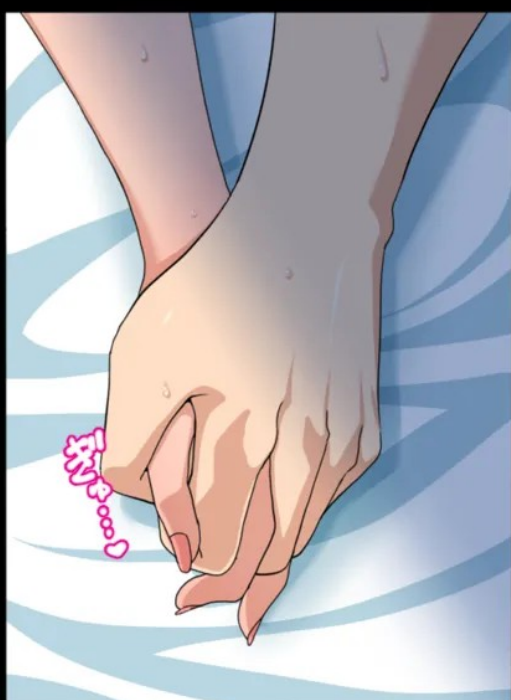
もっと幸せ欲しいな♡

先輩!

あっ♡

トッ…♡

先輩に思いを告げて
先輩の思いを知って



本当に幸せな
一夜を過ごした。



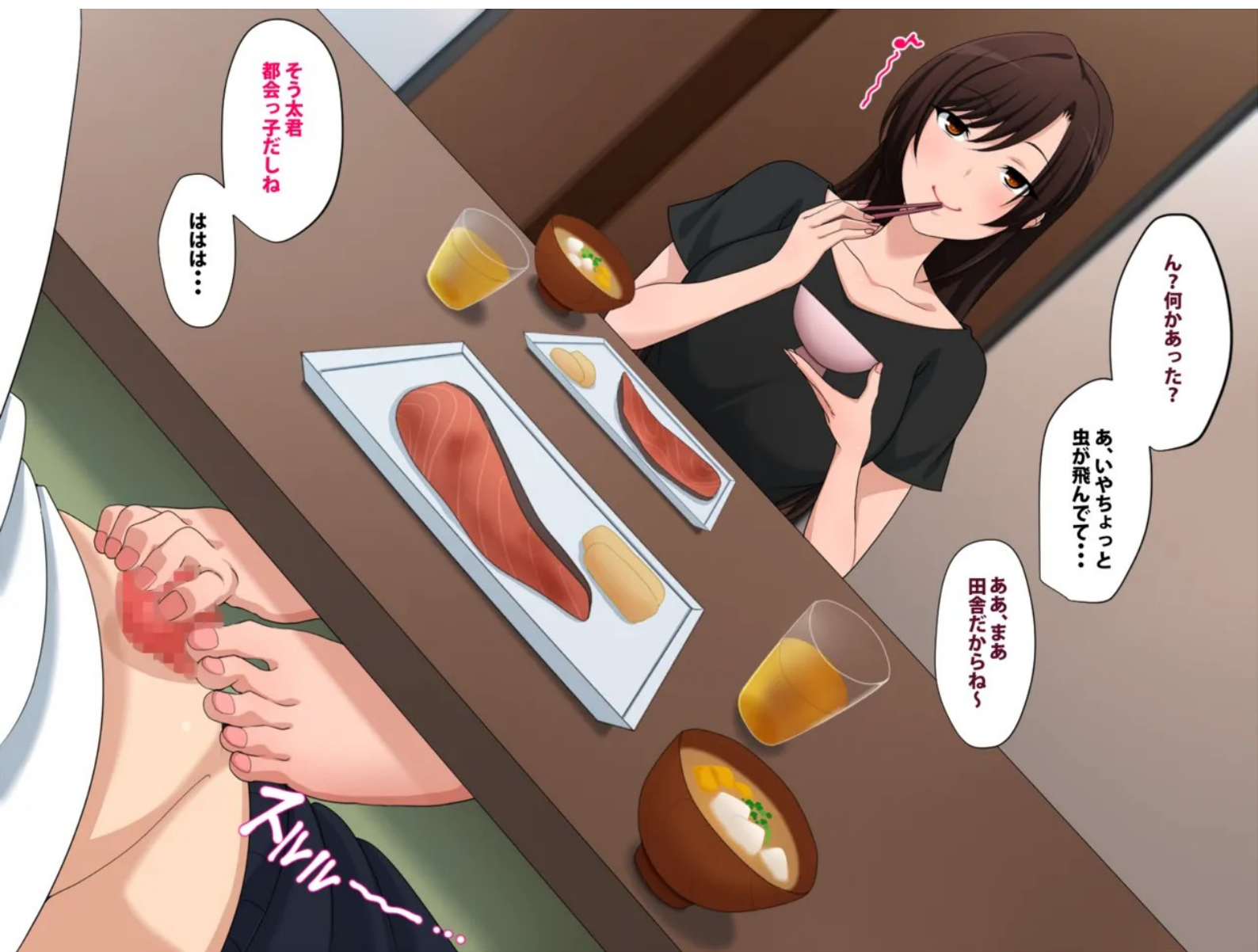
大したものできなくて
ごめんね

ごちそうだよ
ね、そう太君♡

はい！

朝からこんなに...

うっ！



ん？何かあった？

あ、いやちょっと
虫が飛んでて…

ああ、まあ
田舎だからね

そう太君
都会っ子だしね

ははは…

ズル〜…

遠慮しないで
たくさん食べてね

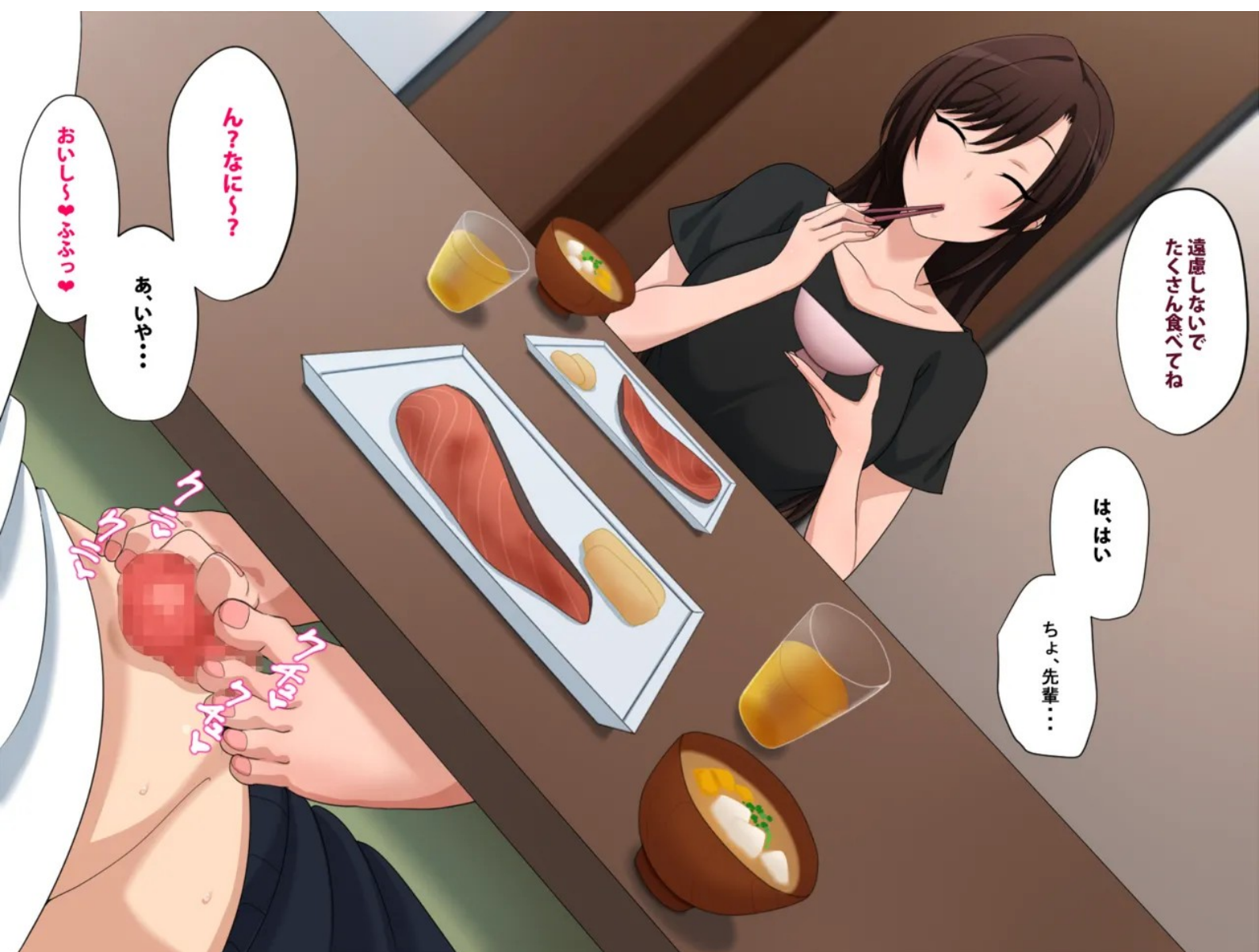
は、はい

ちょ、先輩…

ん？なに？

あ、いや…

おこし❤❤いらい❤❤





せ、先輩…

ごめんごめん♥

そう太君の反応が
可愛いから…つい♥

ごはん食べ終わったら
ちよつと散歩でもしようか

…はい





ああんっ♡いっ♡
そう太君っ♡

先輩…声が
大きいですよ！

大丈夫♡
誰もいないんだからあ♡

そう太君もっ♡
思いつききてえ♡

ああんっ♡
はい♡

ああんっ♡

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ





あっ♡イク♡
イクイクっ♡

ああっ♡臍奥♡深い♡
好きっ♡大好きっ♡

ああああんっ♡

ふっ♡

ドッ

ドッ

キュッ

キュッ

キュッ

ドッ

ドッ



はあ...はあ...はあ...
気持ちいい...

外でHするの
ハマっちゃいそう♡



ああっ！先輩！

げっ
げっ
げっ

ふっ
ふっ
ふっ

すっ
すっ
すっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

もう声
が大きい

だ、だ
って…あっ！





ふふ♥まだこんなに…

ズン
ズン
ズン

ふふ…♥

ふふ…♥

♥♥ | 回レレ | ♥♥

はい

どれも立派ですね

よく育ってるよね

だろう？
形のいいやつだけ
とってくれ

はうい

でもそう太君の方が
立派だよね♡

ちょ…先輩三

ふふ♡

お父さんに聞こえて
なければいいけど…





わあ…やっぱり
川もきれいですね

子供の頃はここで
よく川遊びしてたのよ

今日は結構暑いし
誰もいないから
ここでゆったりしよ♡

水着姿の先輩…キレイだ。

わぁ…水冷たくて
気持ちいいですね

ここは熱々だけどね♡

それは見ちゃいますよ…

またおっぱい
ばかり見て♡

乳でゅい

乳でゅい

たふふ…♡





先輩の綺麗な水着姿
目に焼き付けたいですから

ふふ♥ありがとうございます♥

んっ…♥

んっ…♥
んっ…♥

私のおっぱいでいっっぱい
気持ちよくなって♥

たっ…♥
たっ…♥
たっ…♥

たっ…♥
たっ…♥
たっ…♥



あんっ♡

うっ! ああっ!

お昼になっても
すごい元気♡

セキ
セキ
セキ

ベキ

ベキ



なんかずっと入ってたなら
寒くなってきたね...

ねえ...暖めて♡

任せてください

ミルク...

ミルク...



そう太君の体
あったかい♡

あ.....♡

たま.....♡

ん.....♡

ホントにしっかり
冷えちゃってますね

先輩の腹中はこんなに
あったかいのに.....

ぎゅ.....♡

ズ.....♡

ズ.....♡

ズ.....♡



んうゝ♡これ好き♡
膣奥にチュウ好き♡

こうすると体も
あたたかくなりますよ

あっ...♡

お腹の底から体が
火照ってくる♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡
ズッ♡
ズッ♡

ドゥ♡
ドゥ♡
ドゥ♡



んあああっ♡

うっ!

あっ♡ほっ♡

ああ♡

先輩...っ!

あったかいの
いっぱいちょうだい♡

ト!!
♡...♡...♡

ト!!
♡...♡...♡

ト!!
♡...♡...♡

ト!!
♡...♡...♡



はあ...♡汗かいて暑くなっちゃった♡

もう一回川の中入ろうかな♡

またすぐに体冷えちゃいますよ？

そうしたらもう一度私をあたたためて♡

ただいま

あ、おかえり
悪いけどちょっと
出てくるわね

何かあるの？

ちょっと婦人会の
寄合があつてね

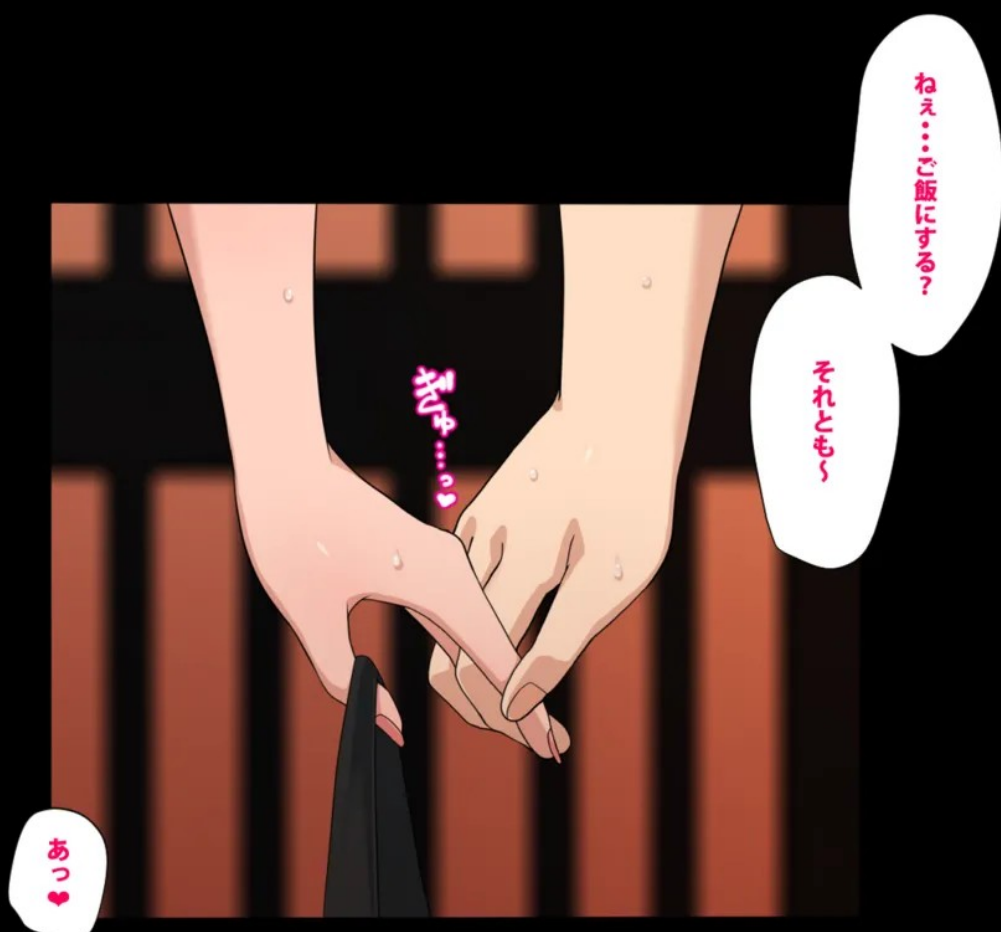
お父さんも村の
寄合に行つてて
遅くなるのよ

私たちの夕飯はいいから
二人で作って食べてね

そうなんだ

はうい

先輩をあたためていたら
すっかり夕暮れに...





先輩…っ！

先輩っ！

んっ…♡

ねえ…そろそろ
私のことは名前で
呼んで欲しいなあ…

私はずっと名前で
呼んでるのに

あっ…

もう、一生懸命だけど
どこか鈍いんだから♡

そこが放っておけないし
可愛いんだからね♡

すみません…

ゆりさん

はい♡

クチュ♡
クチュ♡









あん♡

ああん♡

あ♡

うっーあ♡

あ♡

は♡

んああ♡

ん

ん

ん

ん

ん



これとっていいの♡
もっとしてえ♡

は♡
はあ♡

あ♡

あん♡子宮グイグイ
持ち上げられてる♡

ん♡はあ♡ああ♡

ズッ

ズッ
ポッ

ズッ

ズッ







ゆりさん！

きてっ♡きてっ♡
そう太君の全部…

私に注いでえ♡♡

静かで広いこの家には
僕たちの首だけが響いてる。







はあ...はあ...
吸い付きがすごい...

離したくないから...

どこにも行きませんよ

本当？

は

は

は...









ただいま

寒かったですよ
お部屋温かくしてるからね

わあ、ありがとう

あれから数カ月…

二人で仕事をやめて
長谷川家に帰ってきた。





んああ……♡

部屋あったかいね
裸でも全然平気だ

お母さんに帰ったら
エッチするって
言っておいたからね♡

んっ……♡

あ♡

あ♡

ゆりさんも
お義母さんも
まったく……

スゲー♡



あん♥何だか
じれったい♡

久しぶりなのに♡

安定期だけど
無理しちゃダメなんだから

でもちよつとは動かないと
体力つかないよ?

春になったら
忙しくなるんだから♡

相変わらずエッチになると
甘えん坊なゆりさん。

冬の間もお義父さんの
手伝いするから大丈夫

あぁ……♡

あぁ♡
ほ♡

うう♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡



あっ♡ああんっ♡

ほら、ゆりさん
一緒にイクよ

うん♡イク♡

あっ♡
はっ♡



だから
もう一回♡

元気な赤ちゃん生んで
エッチもいっぱいしようね♡

うん

あ...♡
ん...♡
ちゅ♡

ふふ♡

もう...
しょうがないなあ

♡...♡

♡...♡

END

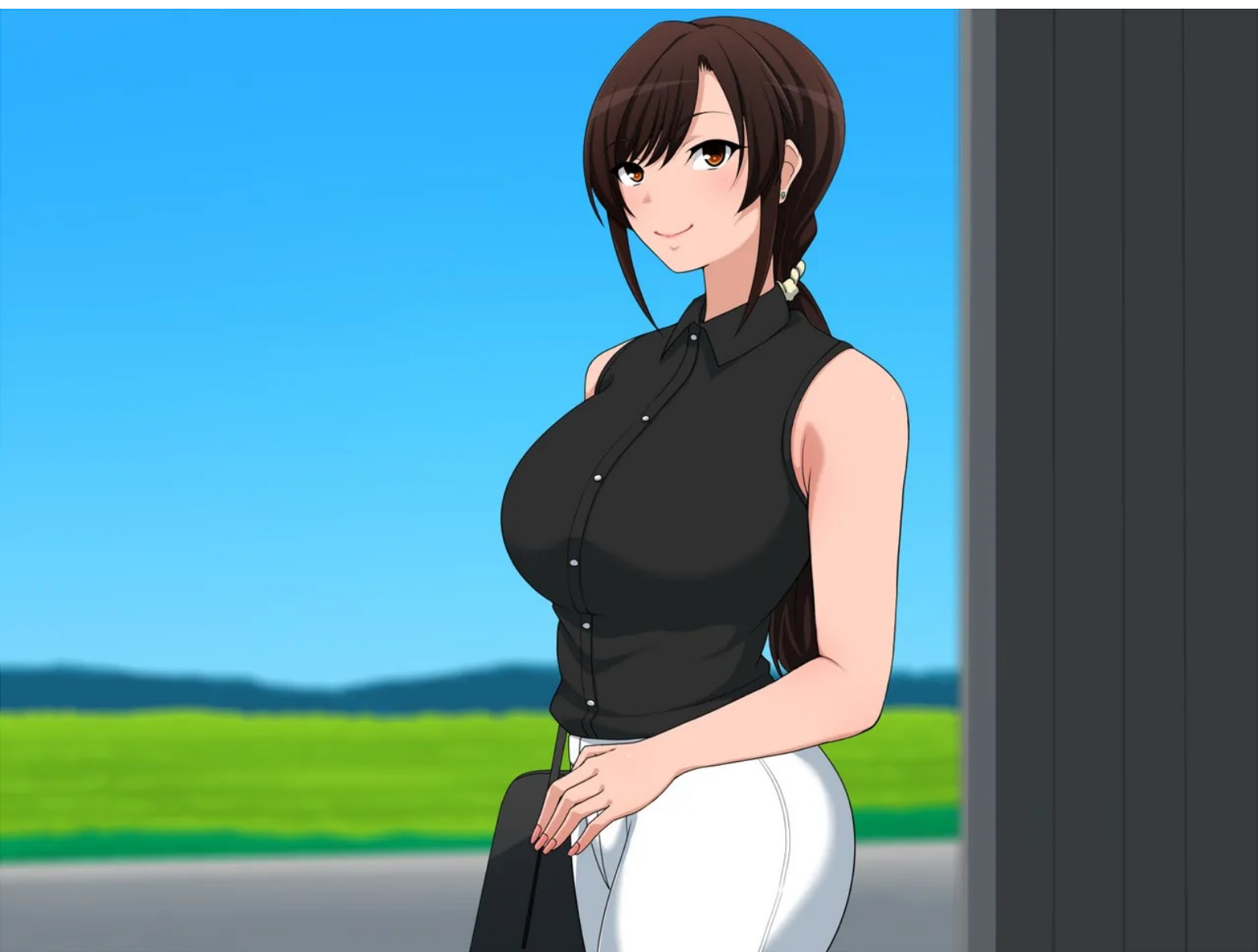
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

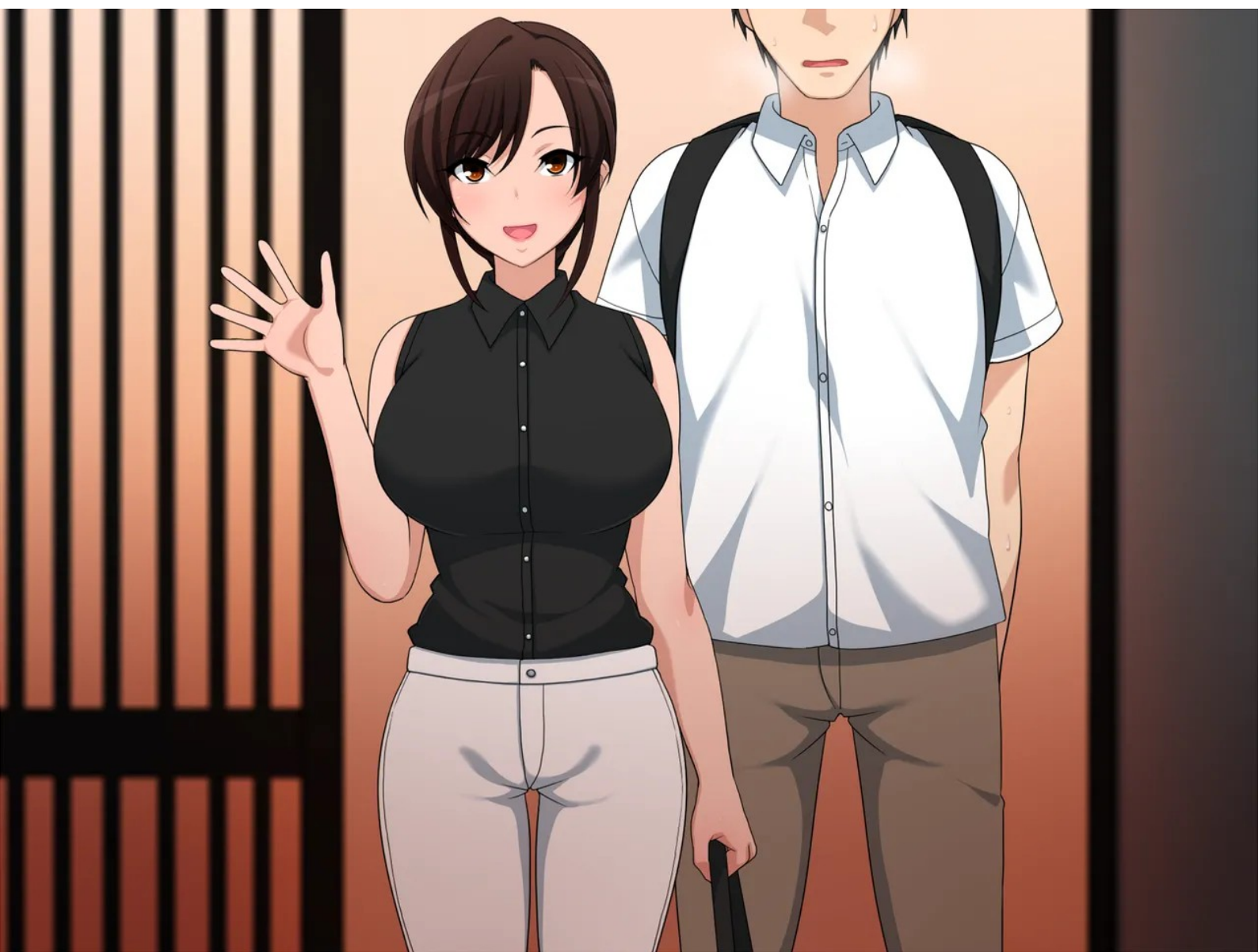




















































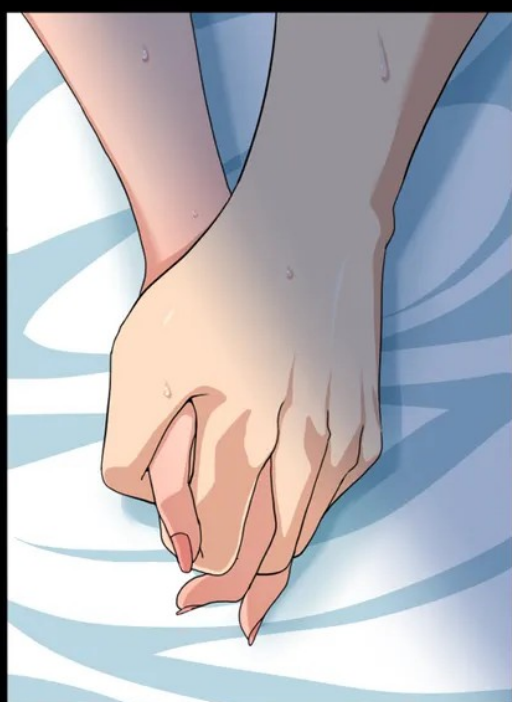






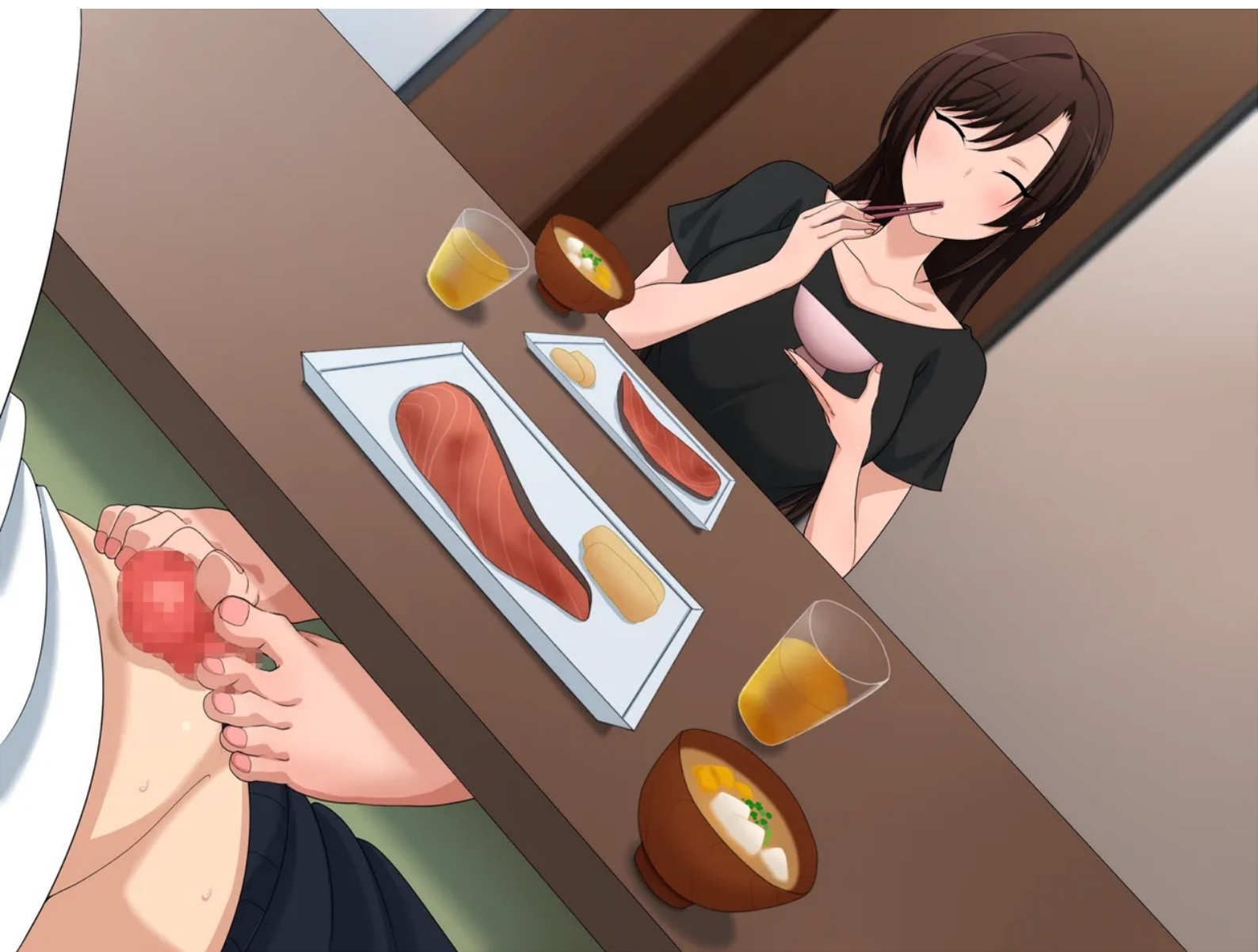








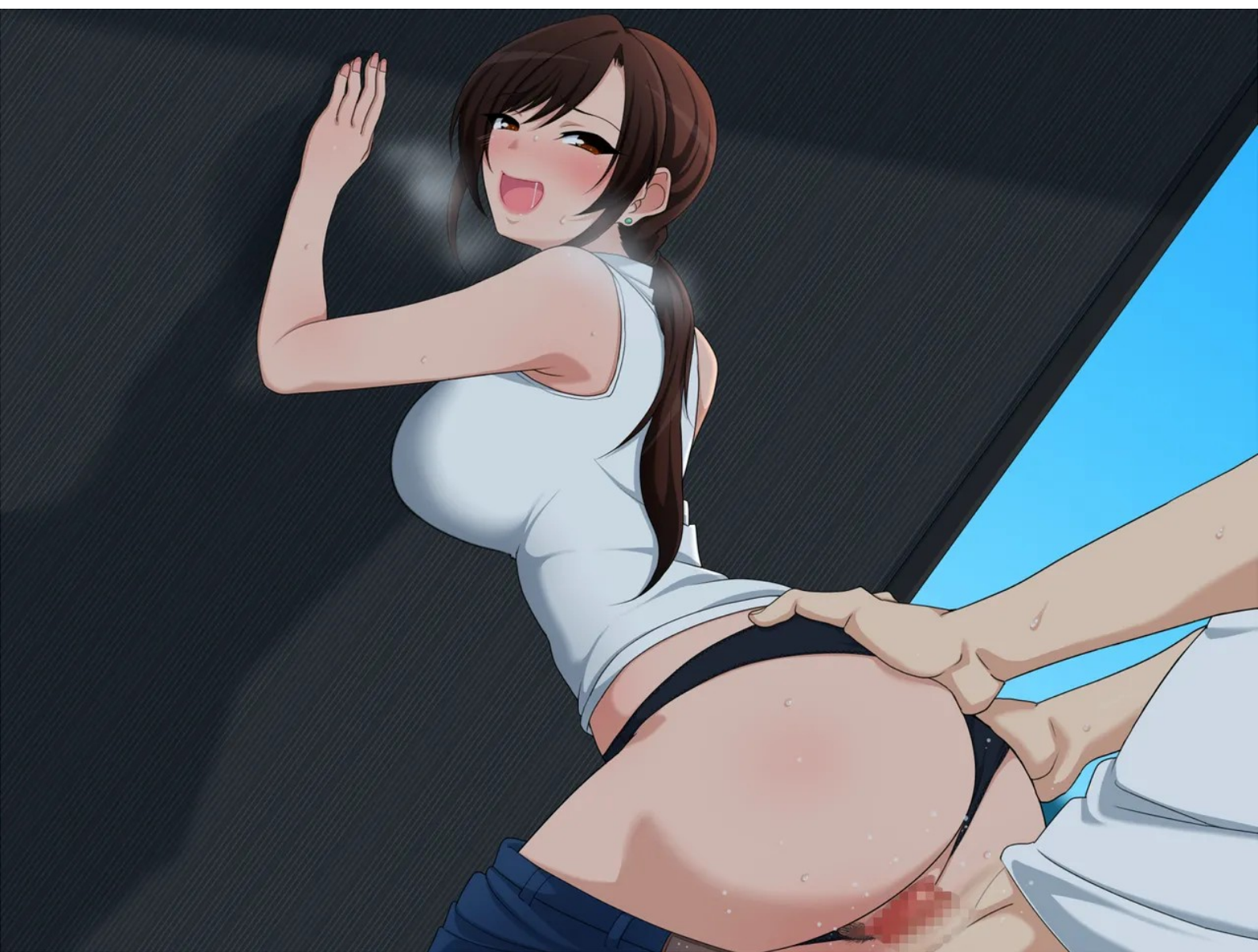


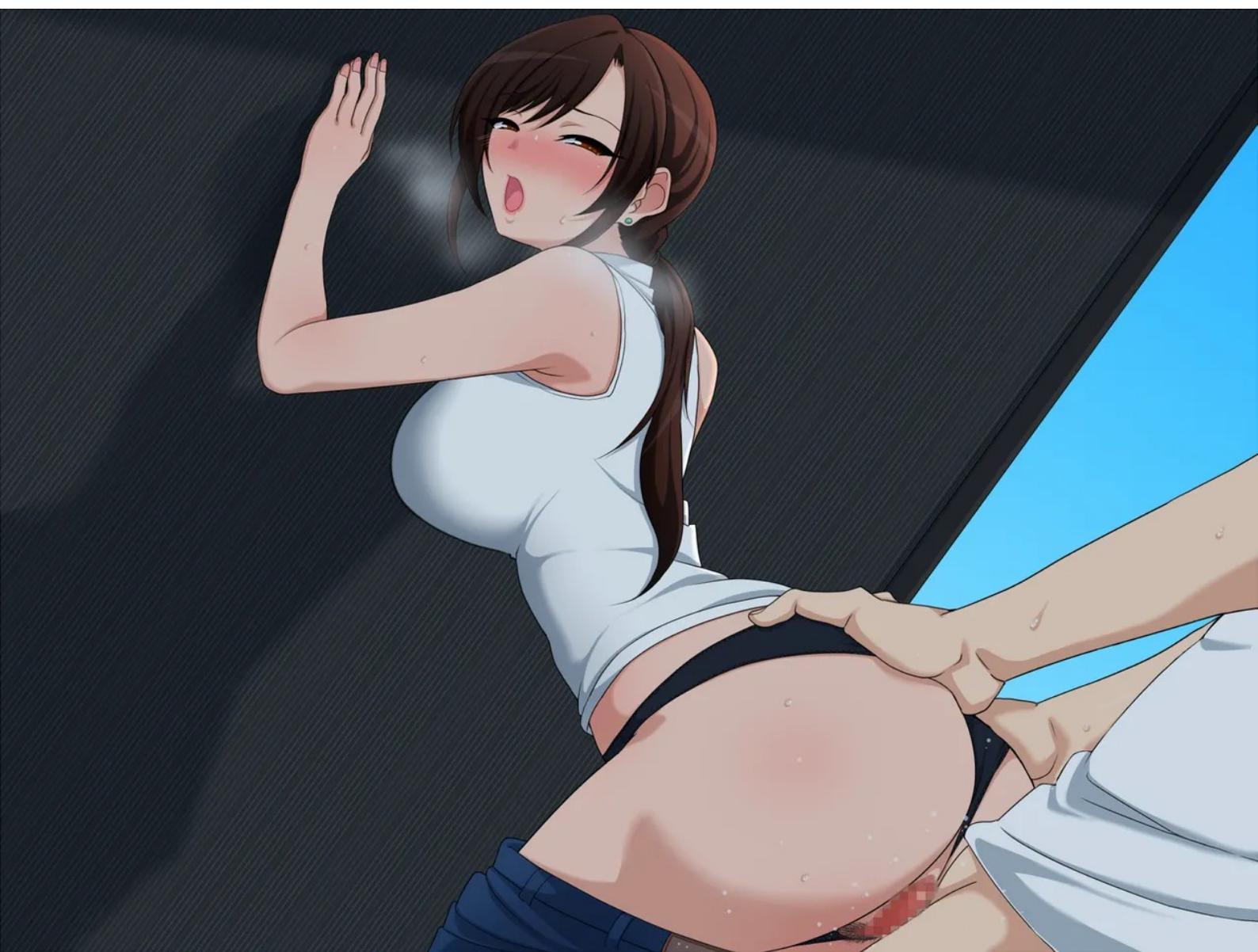


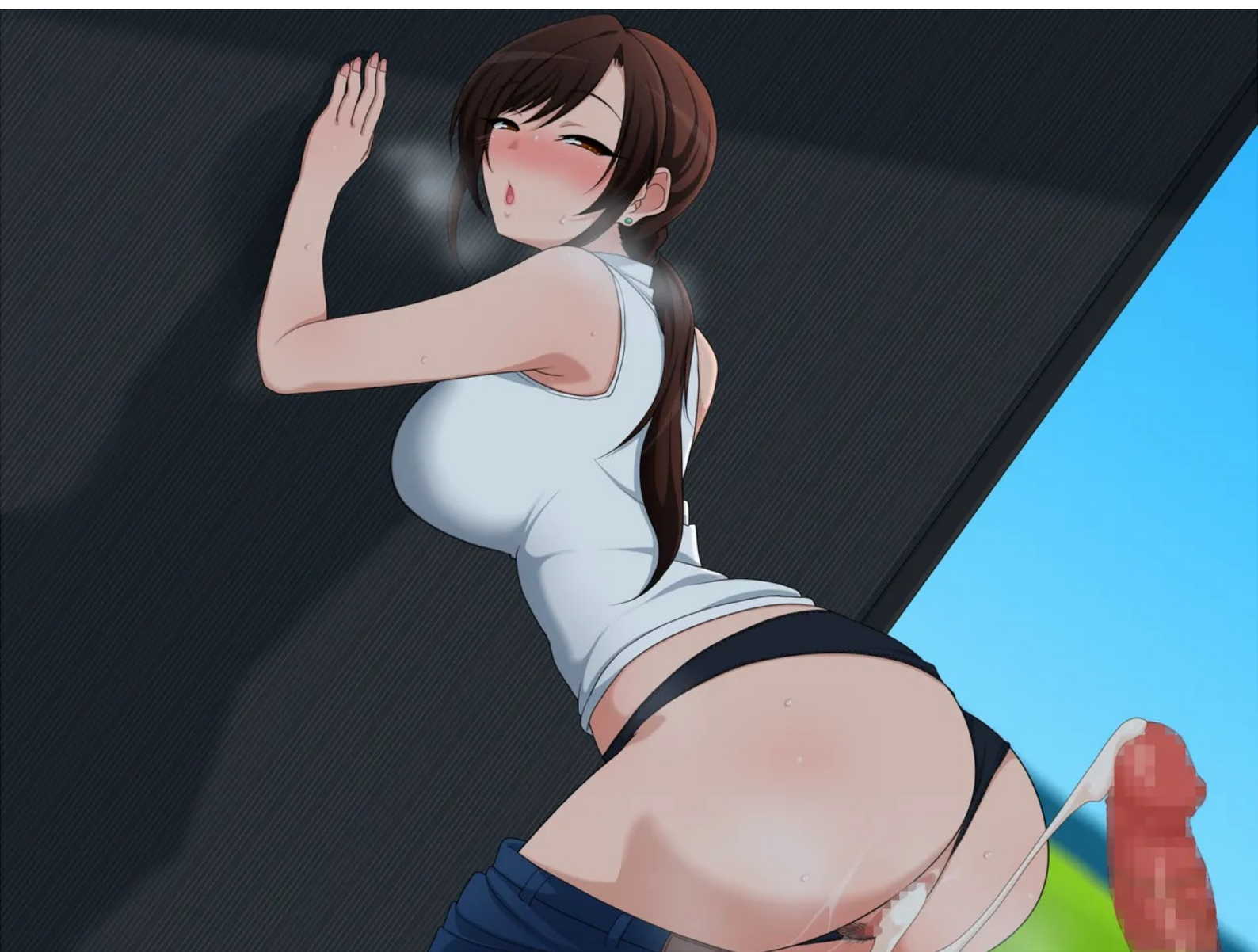










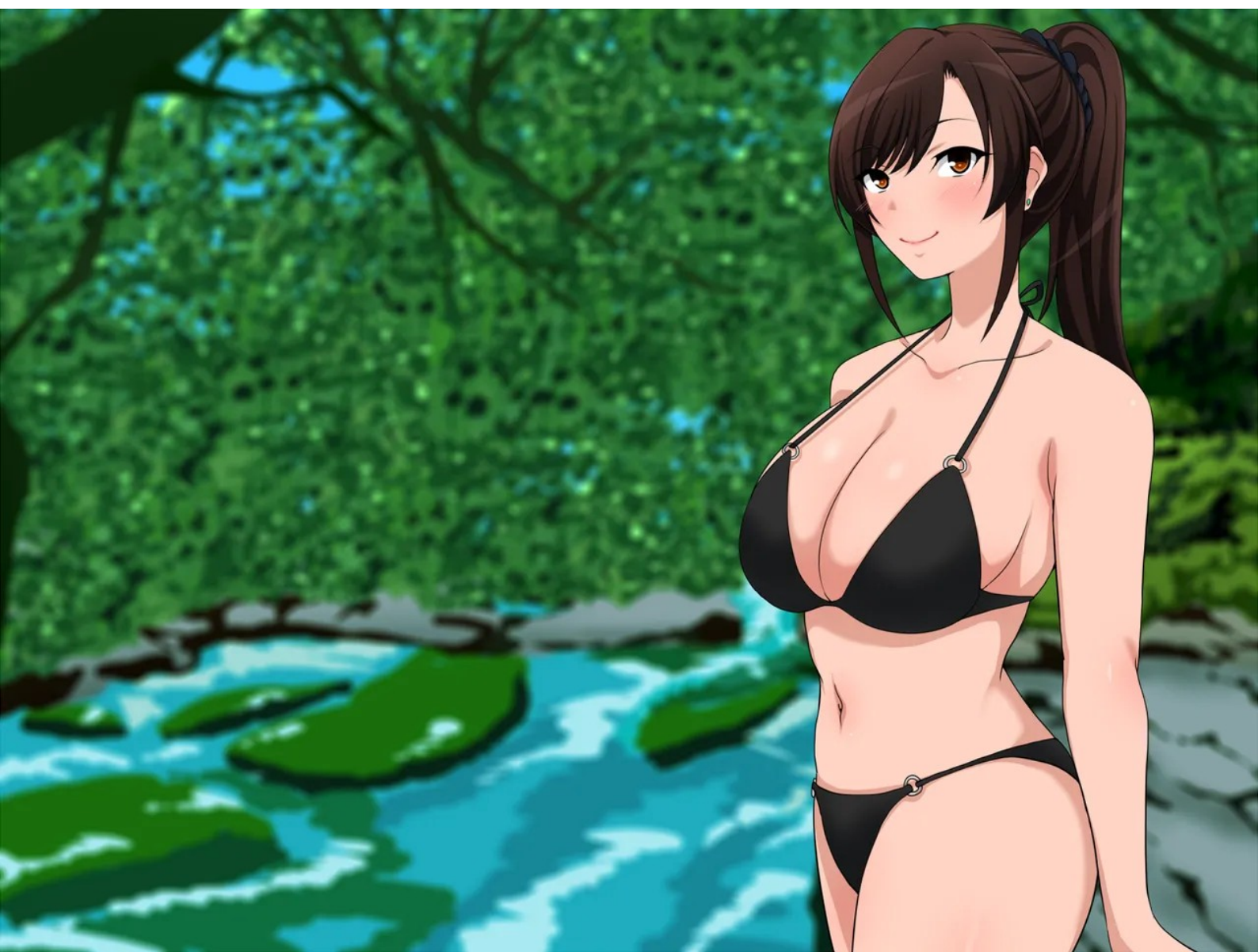


















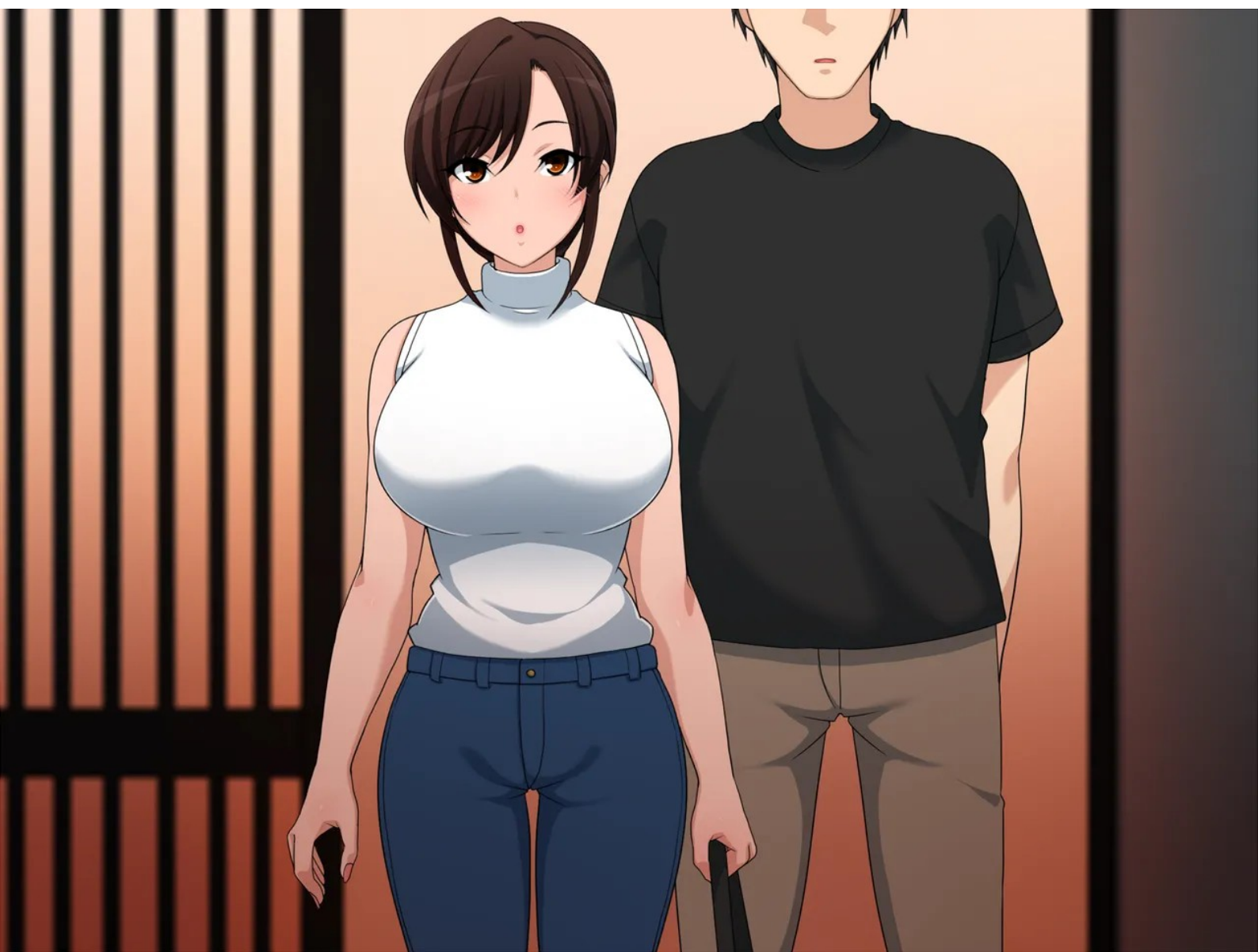




































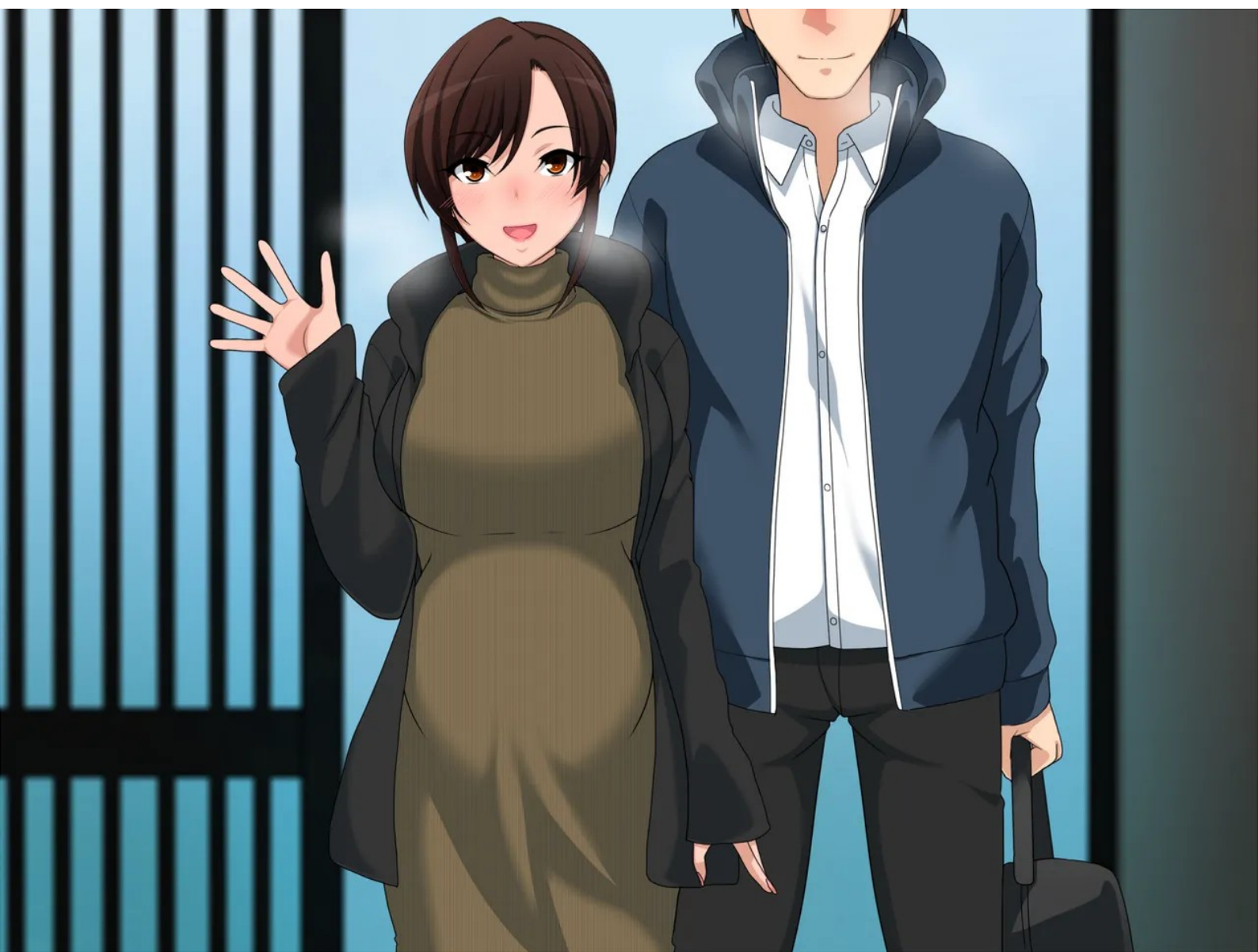






















この度はきつね屋根の作品を
ご購入いただきありがとうございます。

この作品はフィクションです。

作品の閲覧には画像ビューア等の
ソフトをご使用ください。

この作品でお楽しみいただければ幸いです。

今後ともきつね屋根の作品を
よろしくお願いいたします。

製作：きつね屋根
2019年8月